9月定例議会

平成20年度各会計決算を認定

市議会9月定例会が9月1日に招集され、18日まで18日間の会期で開かれました。上程された議案は、健全化判断比率及び資金不足比率の報告や国民健康保険条例の一部改正、平成20年度一般会計および各特別会計決算、平成21年度一般会計および各特別会計補正予算など21件です。すべて原案のとおり可決・承認されました。

上程された主な議案

◇にかほ市国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令等の改正に伴い、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間の出産に係る出産育児一時金を38万円から42万円（※産科医療補償制度に加入している分娩機関で出産した場合。未加入の場合は39万円）とすることについて、にかほ市国民健康保険条例の一部を改正したものです。

※分娩に際して発生した脳性まひの子に対する補償制度で、医療機関等が加入するもの。

◇にかほ市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例制定

TDK㈱などの工場が立地する立沢地区と山王森地区で、各工場における更なる事業拡充とこれによる雇用の増大を可能とするため、工場立地法に定める緑地面積率20パーセント以上を10パーセント以上に、環境施設面積率25パーセント以上を15パーセント以上に緩和することで企業活動の円滑化に寄与するため、条例を制定したものです。

◇平成21年度にかほ市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ4億7、026万3千円を追加し、補正後の予算総額は、157億3、044万1千円となりました。

歳出の主なものは、子育て応援特別手当支給費2、448万円やふるさと雇用再生臨時対策基金事業関連の委託業務費用3、101万2千円、市道山ノ田前川線道路改良事業の工事請負費など3、882万円、仁賀保統合中学校建設事業費1億4、647万8千円の増額などです。

◇健全化判断比率及び資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、一般会計等の平成20年度健全化判断比率（表1）及び公営企業等の平成20年度資金不足比率（表2）を報告しました。平成20年度もすべての比率が、健全段階になっています。

詳細については市ホームページをご覧ください。

【表1】健全化判断比率

	20年度(%)	19年度(%)	早期健全化基準(%)
実質赤字比率	—	—	13.53
連結実質赤字比率	—	—	18.53
実質公債費比率	17.1	16.1	25.00
将来負担比率	178.3	185.1	350.00

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、平成19、20年度とも実質収支が黒字なため「－」で表記

【実質赤字比率】
一般会計の赤字比率（家計に例えると年収に占める年間の赤字額の割合）

【連結実質赤字比率】
一般会計に、その他すべての会計（国民健康保険、ガス、水道など）を含めた連結ベースでの赤字比率

【実質公債費比率】
一般会計に、その他すべての会計、一部事務組合などの会計を含めた連結ベースで、公債費の財政負担を見るための比率（家計に例えると年収に占める年間の借金返済額の割合）

【将来負担比率】
一般会計に、その他すべての会計、一部事務組合や、にかほ市開発公社（ねむの丘）、にかほ市観光開発株式会社（はまなす）などの会計を含めた連結ベースで、一般会計が将来負担しなければならない負債の財政負担を見るための比率（家計に例えると借金が年収の何年分に相当するかを示す割合）

【表2】資金不足比率

会計名	20年度(%)	事業の規模(千円)	経営健全化基準
ガス事業会計	—	382,096	各会計とも事業規模の20.0％
水道事業会計	—	447,361	
簡易水道特別会計	—	28,093	
公共下水道事業特別会計	—	212,872	
農業集落排水事業特別会計	—	87,817	

※資金不足額がないため「－」で表記。事業の規模は営業収益額に相当

主な市政報告
～市長市政報告より抜粋～

◆日沿道山形・秋田県境区間建設促進期成同盟会について

日沿道の早期全線整備を促進するため、酒田市・遊佐町・にかほ市・由利本荘市・秋田市が発起団体となり、日沿道山形・秋田県境区間建設促進期成同盟会を、10月4日に発足させる予定です。

これは、山形・秋田県境区間の整備に、目的を特化した同盟会で、当日は象潟シーサイドホテルを会場に、設立総会に引き続き、建設促進大会も併せて開催します。

市民の皆さんからも多数参加していただき、官民一丸となって、早期実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

◆国際交流事業について

10月20日から7泊8日間の日程で、ショウニー市へ、中学2年生14名を派遣する計画で、市内全中学校からの応募者に対する面接など選考を終えて、対象者を8月に決定しています。

また、ワシントン州アナコーテス市への中学生訪問団派遣については、新型インフルエンザ感染拡大の影響により、来年3月に変更し、団員募集は10月下旬に行う計画です。

◆旅券の申請・発行業務開始について

仁賀保庁舎市民課の窓口において、旅券（パスポート）の申請・発行業務を10月1日から開始します。

市民の皆さんには、より身近な場所でパスポートの申請・受領が可能となり、交通費や移動時間などの負担が軽減されることになります。

◆「2009南極・白瀬展」について

白瀬日本南極探検隊百周年記念プレイベントとして、「2009南極・白瀬展」を、8月14日から3日間、秋田市のアルヴェ2階・多目的ホールで開催しました。

初日の「白瀬をもっとよく知ろう！県民集会」では、佐竹知事のあいさつの後、作家の西木正明氏が「白瀬矗という日本人」と題して講演、引き続いて「白瀬の夢と日本の南極観測」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

この白瀬顕彰事業は、3カ年にわたって実施されるもので、今後も白瀬中尉生誕の地「にかほ市」として、各種事業を積極的に展開し、全国に発信してまいりたいと考えています。

また、この事業の一環として行われる「新しらせ」の秋田港寄港について、堀井秋田県副知事とともに、7月14日に、海上自衛隊舞鶴地方総監の宮浦海将を訪問し、来年9月の秋田港への寄港を要請してまいりました。

現在、7港から要請があるようですが、秋田港を最優先に選定していただけるものとの感触を得てきたところです。

新しい南極観測船「しらせ」

◆社会福祉施設等の整備計画について

「第四期本荘由利広域介護保険事業計画」において、本市では22年度以降、介護老人福祉施設（特養ユニット型50床）と、認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム1ユニット9人）が整備されます。

特養については2事業者から、グループホームについては3事業者から、それぞれ実施希望の相談を受けています。その後、特養については、「明星福祉会」からのみ整備計画一覧表の提出があったことから、これを事業者とする、市の整備計画一覧表を作成し、8月上旬に県に対して報告をしました。

この後、事業主体は計画書等を提出し、県の選定審査会、国のヒアリング後の3月以降、施設整備に係る補助内容等が確定する見込みとなっています。

なお、グループホームについては、広域市町村圏組合において選考委員会が行われ、9月中旬には、申請のあった事業者の内から、1業者が決定されることになっています。

次ページへ続きます